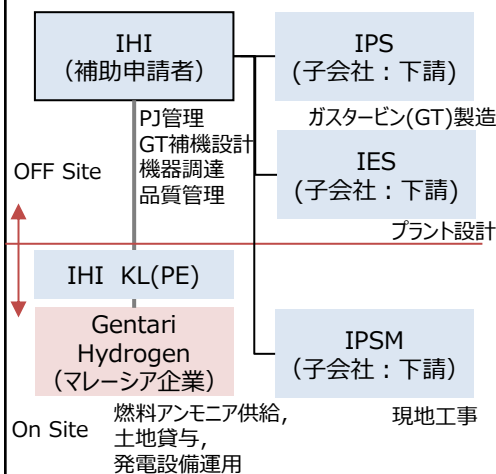


プロジェクト名	燃料アンモニアによるガスタービン発電商用実証事業
企業名	株式会社IHI
事業実施国	マレーシア
類型	類型1・類型2・類型3

事業概要

【想定事業スキーム】



【概要】

商用運転中の設備の電源として、アンモニア専焼ガスタービンを世界で初めて利用する。
本実証事業にて、商用運転中の設備に適用した「実績」をすることで、新しい技術の導入に対する不安を払拭し、アンモニア燃焼技術への「信頼」の獲得へつなげていくことが目的。日本発の先進技術で、地球規模の脱炭素化に貢献する。

【実証事業の総経費】

28億円（うち補助対象経費23億円）

【スケジュール】

2025年5月設計・機器調達開始
2027年1月本事業のガスタービン運転開始
2028年アンモニア利用設備のグローバル拡販を強化



【アンモニア専焼IM270ガスタービン】

本事業の我が国の雇用増等への裨益効果

本案件は、脱炭素時代へ向けて、燃料アンモニアの需要を喚起するものである。

- 世界で初となるアンモニア専焼発電による商用設備への給電を実現することで、脱炭素へ向けた日本の技術の先進性・成熟度をグローバル市場に訴求できる。
- ガスタービンをはじめとしたアンモニア利活用技術に関する市場を日本企業が先導することで、化石燃料による火力発電で日本企業が得意とした機器製造・整備事業の維持・発展を可能とし、国内における雇用・設備投資の拡大につながる。
- 燃料アンモニアの需要喚起により上述の利活用に加えてクリーンアンモニア燃料製造事業への投資機会が拡大し、水素製造装置や二酸化炭素回収設備等で日本製機器の輸出機会の創出にもつながる。